

平成13年6月13日

薬価専門部会

専門委員 八代光夫

同 奥田秀毅

先発品・後発品の薬価推移について

前回（5月16日）の当部会において、事務局より先発品・後発品の薬価推移に関する資料が提示されました。当日の議論を受け、専門委員としてこれに関連する資料を下記の通り取り纏めました。今後の議論に資するため、提出させていただきます。

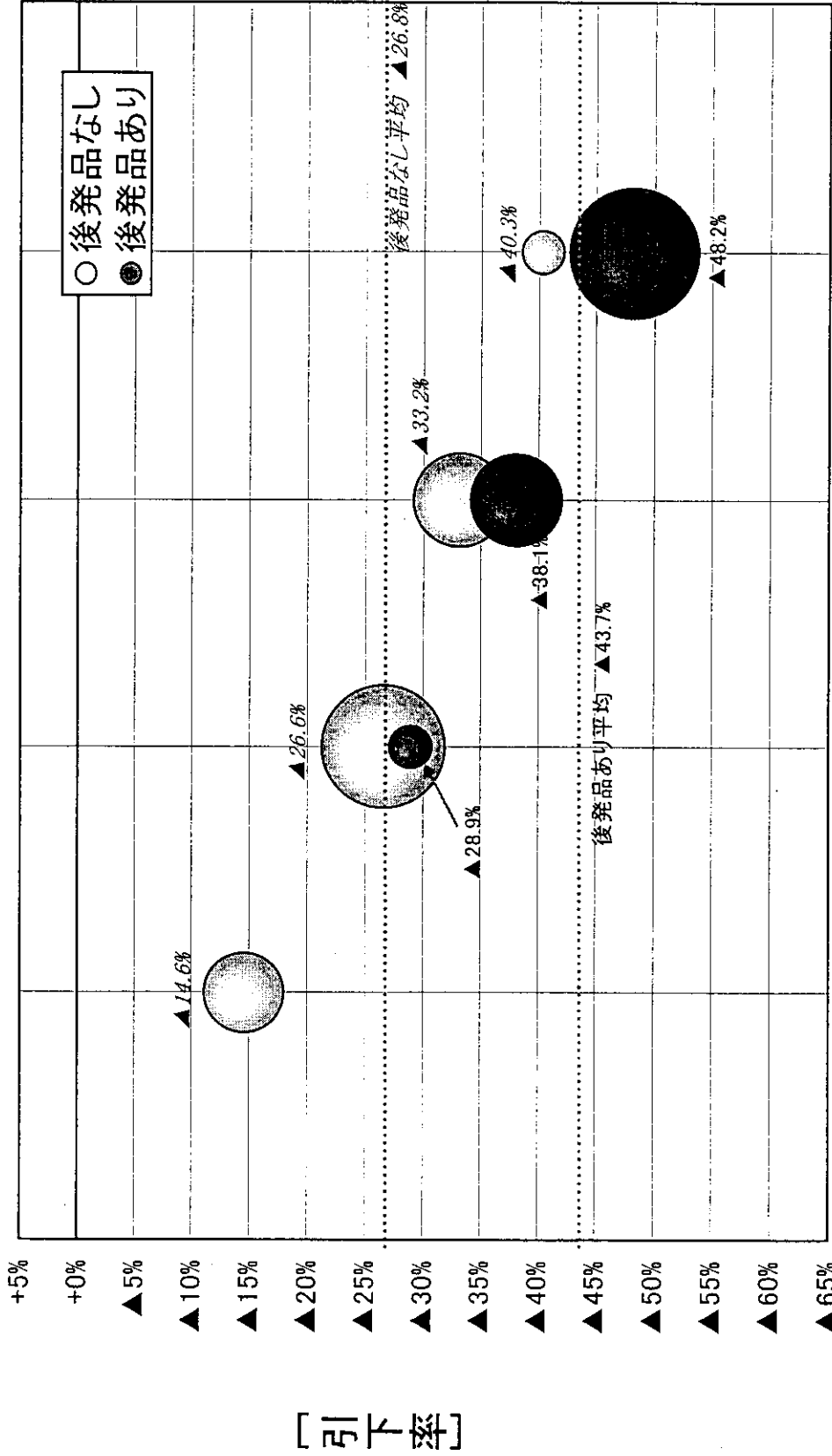
記

1. 平成11年度売上げ上位200品目の収載経過年区分別薬価引下げ率
2. 先発品・後発品の薬価推移〔事例3品目〕

以上

平成11年度売上げ上位200品目 収載経過年区分別 薬価引下げ率 (収載時→現行薬価)

(昭和42年以前収載品及び局方品を除く)

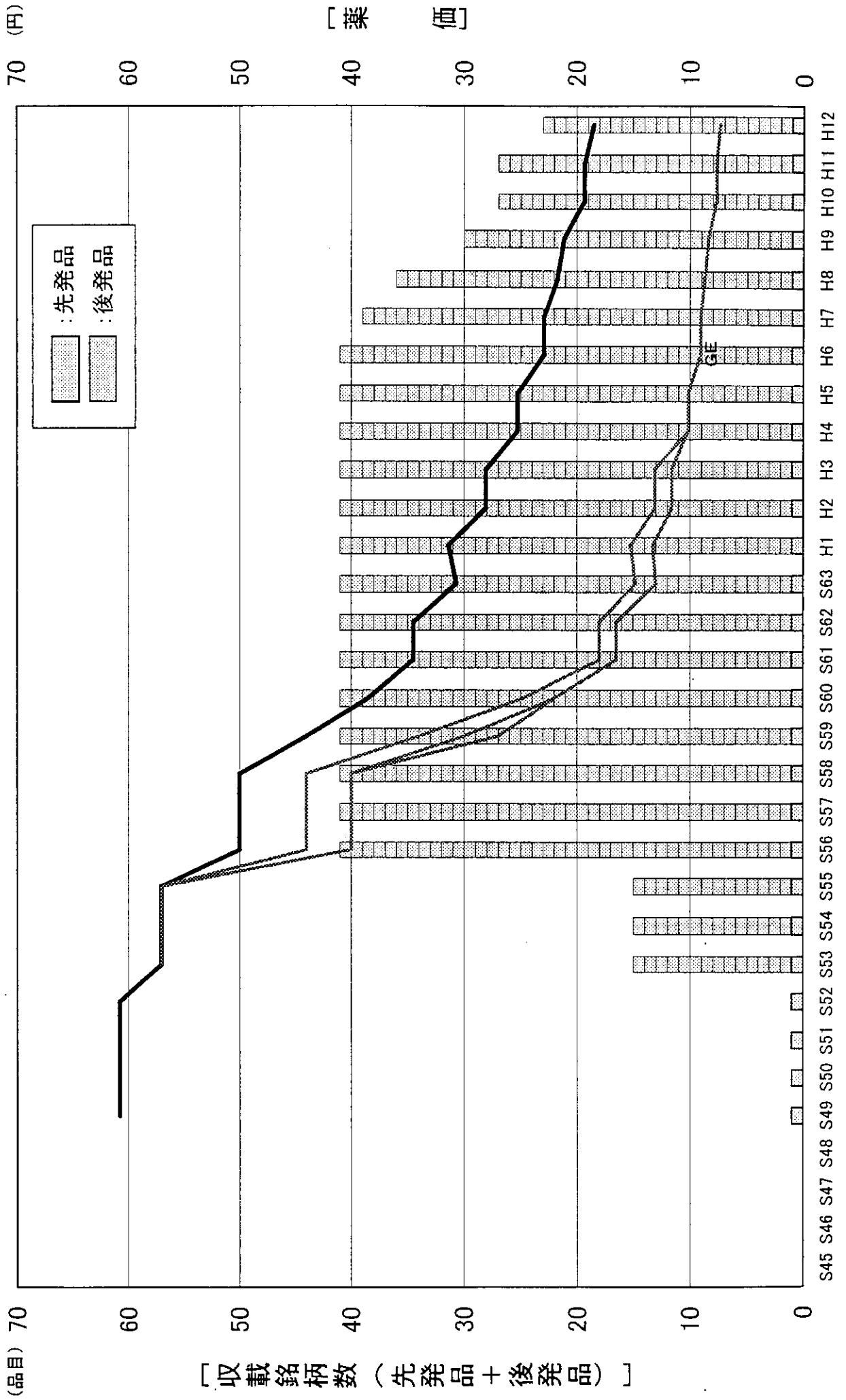


(合計)

収載後5年未満の品目	5年以上経過	10年以上経過	15年以上経過	合計
後発あり品目数	0	28	55	89
後発なし品目数	21	29	6	106
合計	21	57	61	195

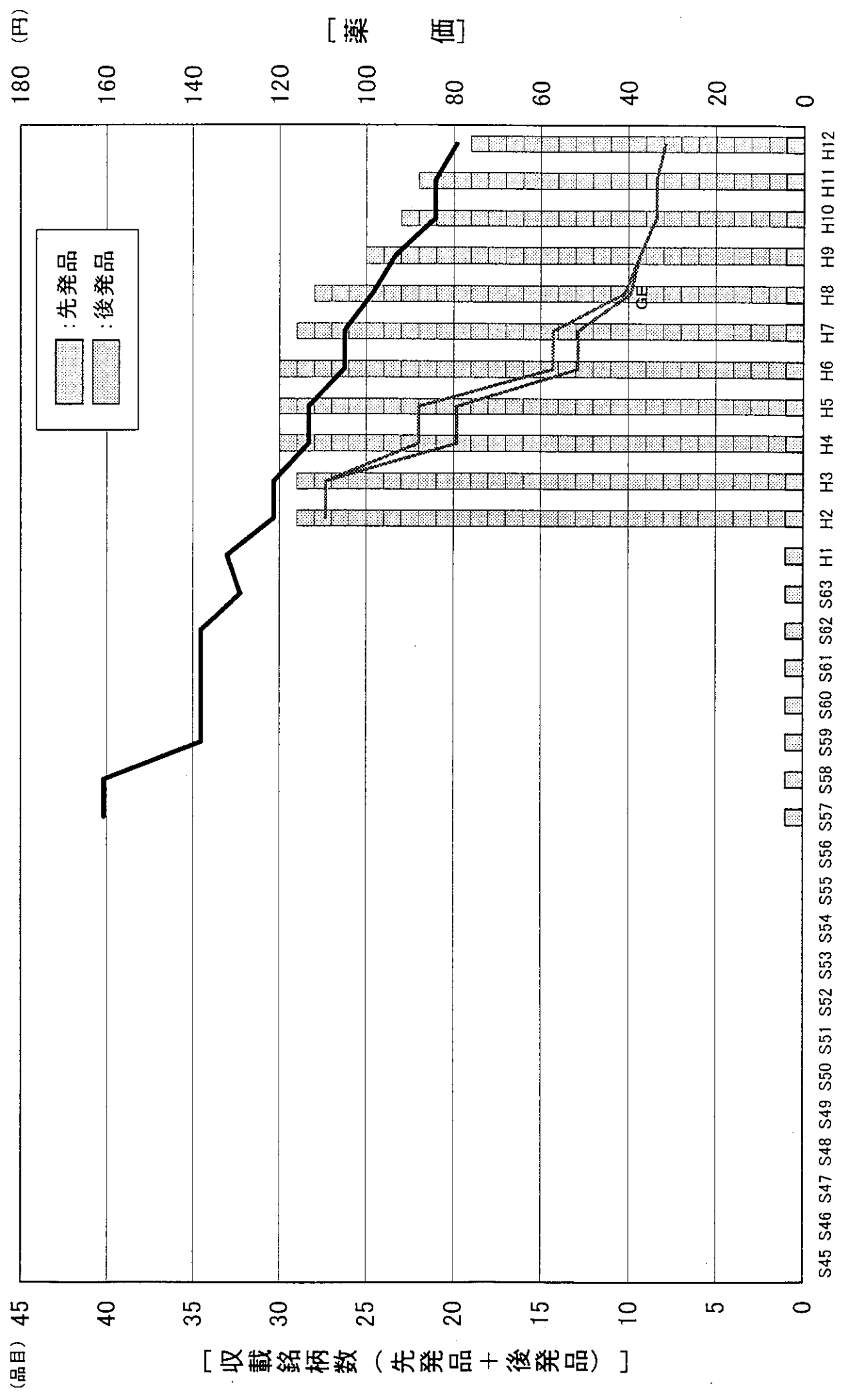
先発品・後発品の薬価推移 [1]

【解熱鎮痛消炎剤（錠剤）】



先発品・後発品の薬価推移 [2]

【アレルギー性疾患治療剤（カプセル）】



先発品・後発品の薬価推移 [3]

【消化性潰瘍用剤（錠剤）】

